対格標示形式の地域差 －無助詞形をめぐって－

木部　暢子（国立国語研究所）

要旨

対格標示形式は，地域によって大きく異なっている。東北地方では無助詞形が基本，南九州地方では助詞「オ」や「バ」で標示されるのが基本，その間の地域は，無助詞形と助詞形の両方で標示される。本稿では，現在，国立国語研究所が作成中の『日本語諸方言コーパス』(COJADS)から，青森県弘前市方言（無助詞形主流），福岡県北九州市方言（助詞形・無助詞形両存），鹿児島県頴娃町方言（助詞形主流）を取り上げ，弘前市方言では無助詞形が基本だが，対格名詞句が人名詞の場合，特定性を持つ場合，動詞に隣接しない場合に助詞「ゴド」が使用されること，北九州市方言では無助詞形と助詞「オ」が相半ばして現れ，対格名詞句が特定性を持つ場合，動詞に隣接しない場合，焦点化されている場合に助詞「オ」が使用されること，鹿児島県頴娃町方言では助詞「オ」「オバ」で標示されるのが基本で，無助詞形が極めて希であることを述べる。

キーワード

弘前市方言，北九州市方言，頴娃町方言，日本語諸方言コーパス，有生性，特定性，動詞との隣接性

１．はじめに

日本語標準語は「主格-対格型」言語で，自動詞・他動詞の主格標識に「が」を，対格標識に「を」を使用する。しかし，話し言葉では無助詞で格を表示することがある。

(1)　a　太郎は　本を　読んでいるよ。
　　b　太郎　　本　　読んでるよ。

日本語諸方言では，主格，対格の標示形式に地域差がある。現在，国立国語研究所が作成中の『日本語諸方言コーパス』(COJADS）を利用して対格助詞の地域差を概観すると，以下のとおりである。

対格助詞の地域差

1. 弘前市方言では，主格，対格ともに無助詞で対格を標示するのが基本である。
2. 広島市，鹿児島県頴娃町方言では，主格を「ガ」，対格を「オ」で標示するのが基本である。
3. 東京方言や福岡県北九州市方言では，主格・対格を「ガ」「オ」で標示する場合と無助詞形で標示する場合とがある。
4. COJADS で対格名詞句の格標示形式を検索し，無助詞形の出現度の高い順に地点を並べると，次のようになる。

　　弘前 ＞ 羽咋・大阪・北九州 ＞ 東京 ＞ 広島 ＞ 鹿児島

以下では，弘前市方言（無助詞形主流），北九州市方言（助詞形・無助詞形両存），鹿児島方言（助詞形主流）を取り上げ，各地点における無助詞形の役割について検討する。

２．先行研究

これまで対格名詞句が無助詞形で標示される要因として，次のようなものがあげられている。

(a) 有生性（皆島 1993，日高 2000，玉懸 2002，竹内・松丸 2015）：対格名詞句の名詞が有生名詞の場合は助詞で標示されやすく，無生名詞の場合は無助詞形で標示されやすい。例：「きみを見たら」「おみこし∅かつぎますか」

(b) 特定性（玉懸 2002）：仙台市方言の「ドゴ」は有生かつ特定（specifisity）の対格名詞句に対して使用される。例：「ヒトゴド　バガヌ　スンナ（人を馬鹿にするな）」「アノ　犬ドゴ　ツカメァデ（あの犬を捕まえてくれ）」

(c) 代名詞（松田 2000，阿部 2000）：代名詞は語彙名詞に比べて無助詞形になりにくい。疑問代名詞は逆に，語彙名詞に比べて無助詞形になりやすい。「あれを電車へこう落としてさ」「旗∅振ってさ」「なに∅やるのかなあ」　地域によっては代名詞の方が語彙名詞よりも無助詞形になりやすい地域もある。

(d) 動詞と対格名詞句との隣接性（松田 2000，阿部 2009）：対格名詞句と動詞が隣接している場合は無助詞形が出現しやすく，非隣接の場合は助詞が出現しやすい。例：「仏様 ∅ 拝んで（隣接）」「それを人にしゃべって・・・（非隣接）」

対格標示形式の地域差を示したものに国立国語研究所『方言文法全国地図』がある。図１は，『方言文法全国地図』第 6 図「酒[を]（飲む）」（対格名詞が非人名詞），図２は第 7 図「おれ[を]（連れて行ってくれ）」（対格名詞が人名詞）の地図である。図１の赤い線で囲んだ部分は無助詞形の地域，図２では「ゴド」で標示する地域である。

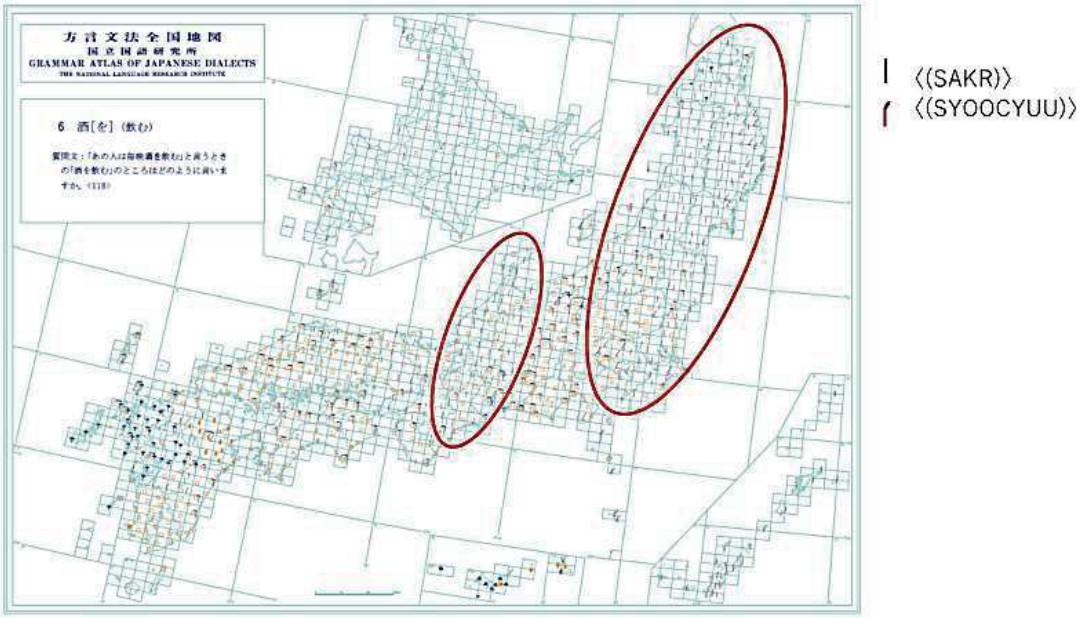

図１　『方言文法全国地図』第 6 図「酒[を]（飲む）」

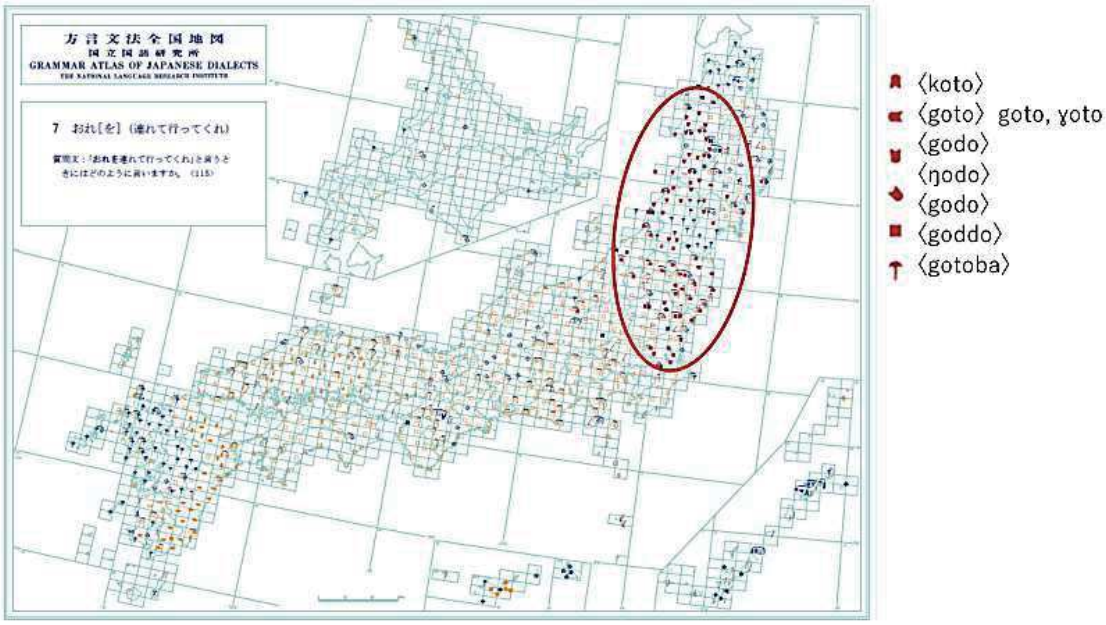

図２　『方言文法全国地図』第７図「おれ[を]（連れて行ってくれ）」

３．『日本語諸方言コーパス』（COJADS）について

３．１　データについて

データとして使用する『日本語諸方言コーパス』(Corpus of Japanese Dialects; COJADS）について説明しておこう。COJADS とは各地方言の自然談話の音声データが検索ができるようにしたもので，音源は文化庁が 1977～1985 年に行なった「各地方言収集緊急調査」の方言談話の収録データである。全都道府県 224 地点，１地点につき 30 時間程度の談話録音テープがあり，データの一部は 『全国方言談話データベース 日本のふるさとことば集成』（国書刊行会）として刊行されている（図３参照）。現在，モニター版として，この『全国方言談話データベース 日本のふるさとことば集成』所収の 47 地点，24 時間分（各県１地点<沖縄のみ２地点>×約 30 分）の音声とその書き起こしデータを整備中で，平成 31 年３月に公開する予定である。

図３『日本のふるさとことば集成』

COJADS の検索は，共通語訳から方言テキストを検索する方式をとっている。この方式の利点は，現代日本語の形態素辞書と検索ツールを利用することができる点，諸方言の横断検索ができる点である。将来的には，方言検索システムを整備する必要があると考えているが，そのためには各地点の方言形態素辞書を作らなければならず，かなりの時間を要する。そこで，とりあえず，共通語により検索する方法をとっている。図４は検索画面のイメージである。

前文脈	検索語	後文脈	地点	ID	話者
ウン ソエ カダナ		ノムス ホレ。	弘前	053	B
うん それ［は］ 刀	［を］	飲むし ほら。			
シキー		フンジャー イケナイヨ。	東京	075	A
「敷居	を	踏んでは いけないよ。」			
ネ オジジァ ソノ ワラ	オ	ネーエ	羽咋	003	B
ね おじいさんは その 藁	を	ね			
エー ベベ		キテンナー。	大阪	144	D
いい ベベ	［を］	着ているなあ。			
アノー ソノ カグラ		マウネ。	広島	002	C
あの その 神楽	［を］	舞うね。			
チュー コトバ	オ	ツカイヨッタ。	北九州	027	B
という ことば	を	使っていた。			
ガッチュー　ハナス	（オ）	キケバ　モー　ナンダヂャイガ	鹿児島	257	C
よく 話	を	聞けば もう 涙だが			

図４　COJADS 検索例（助詞「を」）

３．２　使用上の注意点

CJADS は上記のようなデータを使用している。そのため，COJADS を使用する際には，次のような注意が必要である。

- 話題，話者の数，話者同士の関係等がコントロールされていない。たとえば，各地点の話者数は，弘前市 3 人（男 2，女 1），東京 2 人（男 1，女 1），羽咋 3 人（男 2，女 1），大阪市 6 人（男 4，女 2），広島市 3 人（男 1，女 2），北九州市 4 人（男 2，女 2），鹿児島市 3 人（男 2，女 1）とまちまちである。
- 話者同士の関係が地点ごとに異なる。そのため，発話のスタイルも地点ごとにまちまちである。
- 共通語で検索を行うため，方言と共通語訳との対応関係に注意が必要である。たとえば，方言と共通語との対応関係が難しい以下のようなケースが多々ある。

(2)弘前 79-002 B ハナペサ　ソレ　ゼンマイコダケンタノ　　マガサテ
　　鼻先に　　ほら　ゼンマイみたいなの［が］　巻きついて

(3)羽咋 69-017 B アー タノシミナ テ ユーテ
　　ああ 気持ちがよい と 言って

(4)北九州 351-000 A ソレカラ モー セワイガルヨッタ。
　　それから もう 忙しがっていた。

４．COJADS による主格標示，対格標示の地域差

４．１　検索結果

上の例に示したように，対格標示形式は「を」で検索することができる。方言形が無助詞形の場合，共通語テキストでは当該の助詞の訳が［　］で囲まれて表示されるようになっているので，これで無助詞形も検索できるようになっている。以下に，青森県弘前市，東京都台東区，石川県羽咋郡押水町，大阪市，広島市，北九州市，鹿児島県頴娃町の主格標示，対格標示の検索結果を示す（北九州市については未公開データを含む）。

表１　主格助詞，対格助詞の地域差　（出現回数(%)）

地域	格	無助詞形	助詞あり	合計	備考
弘前	主格	98(84.5%)	ガ　18(15.5%)	116(100%)	
	対格	99(94.3%)	ゴト 6(5.7%)	105(100%)	
東京	主格	10(7.4%)	ガ　126(92.6%)	136(100%)	
	対格	35(43.2%)	オ　46(56.8%)	81(100%)	
羽咋	主格	6(14.6%)	カ゜ 15(36.6%)　ア　20(48.8%)	41(100%)	
	対格	55(64.7%)	オ　30(35.3%)	85(100%)	
大阪	主格	25(22.5%)	ガ　86(77.5%)	111(100%)	
	対格	57(62.0%)	オ　35(38.0%)	92(100%)	
広島	主格	4(2.2%)	ガ　181(97.8%)	185(100%)	
	対格	14(8.2%)	オ　156(91.8%)	170(100%)	保留 7 注1
北九州	主格	22(6.6%)	ガ　309(93.4%)	331(100%)	
	対格	71(46.4%)	オ　82(53.6%)	153(100%)	
鹿児島	主格	2(1.6%)	ガ 126(98.4%)	128(100%)	
	対格	5(5.8%)	オ 77(89.5%)　バ・オバ 4(4.7%)	86(100%)	

上の表から次のことが指摘できる。

- 弘前では主格，対格ともに無助詞形が基本である。
- 広島，鹿児島県頴娃では主格を「ガ」，対格を「オ」で標示するのが基本である。
- 東京都，羽咋，大阪，北九州では主格を「が」で標示し，対格をゼロまたは「オ」で標示する。
- どの地域も主格より対格に無助詞形が多く現れる。

４．２　問題提起

これに対して，次のようなことが問題となる。

- 弘前では対格が助詞「ゴト」で示されることがある。それはどのようなときか。
- 基本的に格助詞が標示される広島と鹿児島県頴娃では，どのようなときに無助詞形が現れるのか。
- 東京，羽咋，大阪，北九州で無助詞形が現れる条件は何か。

５．弘前市方言の対格標示

弘前市方言の対格標示について，具体的に見ていくことにしよう。弘前市方言では，基本的に主格，対格が無助詞形で標示される。COJADS における無助詞形の割合は，主格が 84.5%，対格が 94.3%。語順は S-O-V が基本である。以下に無助詞形の例をあげる（用例の最初の数字は ID 番号，ＡＢＣ…は話者記号である ）。

(5)045 B　アノ　ズサマ　タエゴコ　タダゲバ
あの　おじいさん［が］　太鼓［を］　叩くと

(6)019 C　ガムスダケンタ　モノ　クスコサ　トステサ
蛾虫のような　もの［を］　串に　通してね

(7)024 A　ソステ　テンビンサ　マス　エレデ　カズイデ
そして　天秤に　鱒［を］　入れて　担いで

(8)039 A　ハダハダテバ　アノ　ブリコ　ガッツラガッツラガッツラテ
鰰というと　あの　ブリコ［を］　がっつらがっつらがっつらと

カンダモンダデバナッ。
かんだものではないか。

しかし，助詞「ゴト」で標示される例が６例ある。以下がその例である。

(9)067 A　ソエゴト　オラｎド　コステ　ナメルンダー
それ(飴)を　私たち［は］　こうして　なめるんだ
（ｎは子音の前の鼻音を表す。）

(10)001 B　ソエゴト　キレコデ　コー　クルンデー
それを　布切れで　こう　くるんで

(11)019 C　ソレゴト　フセク゜　クスリダラスワ
それを　防ぐ　薬らしいですね

(12)048 A　アレー　アノ　キ　キレゴト　マナグサ　サステ
あれは　あの　×　錐を　目に　刺して

(13)019 C　ジャンコ　ノ　フト　ホレ　Ｘ１セァゴト　グルグルハット　テ　スタノー
田舎の　人［が］　ほら　Ｘ1×　を　ぐるぐるハット　と　言ったの
（Ｘ１は人名，×は意味不明な音声を表す）

(14)102 C　オエノ　オヤ　カチャタビゴト　ハガヘダ
私の　親［は］　裏返しの足袋を　はかせた

では，どのようなときに「ゴド」が使われるのだろうか。先に見たとおり，先行研究では対格名詞の(a)有生性，(b)特定性，(c)代名詞，(d)動詞との隣接性 が対格標示形

式に関与的だという指摘がある。この４つの条件ごとに弘前市方言の対格標示形式の例を整理してみよう。

表２　条件ごとの対格標示形式の整理（弘前）　（出現回数）

	対格名詞	無助詞形	「ゴト」	合計
(a)有生性	人名詞	0	1	1
	動物名詞	8	0	8
	無生名詞	77	2	79
	形式名詞等	11	0	11
(b)特定性	固有名詞	1	2	3
(c)代名詞	ソレ・ソエ	0	3	3
	アレ	2	0	2
(d)隣接性	隣接	94	2	96
	非隣接	9	4	13

表２から，以下のようなことが分かる。

(a')有生性について。対格名詞が人名詞の１例(13)は「ゴド」，動物名詞（魚，マス，ニシン，ブリコ），無生名詞，形式名詞等（コト，モノ，準体助詞ノ）は無助詞でマークされている。このことから，名詞句階層のうち人名詞は「ゴド」で標示され，それ以下の階層は無助詞形で標示されていることが分かる[注2]。なお，無生名詞が「ゴド」で標示される２例は，名詞句と動詞が隣接していない例(12)、及び特定性の例（14）である。

(b')特定性について。自然談話コーパスの COJADS の場合，文脈から特定性かどうかを判断することになるが，それは難しい。ここではとりあえず，固有名詞(13)や特定の呼び名(14)には特定性があると考えた。これらは助詞「ゴド」で標示されている。固有名詞の無助詞形は次の例である。埋め込み文の例だが，それが理由かどうかはまだ分からない。

(15)020 A アノ　マコ゜タロムス　ウリニ　キタ　ズサマ　ダイブ
あの　孫太郎虫［を］　売りに　来た　おじいさん［は］　だいぶ

ナカ゜グ　キタヨ
長く　来たよ

(c')指示代名詞について。指示詞「ソレ」の３例（9,10,11）は，すべて「ゴド」で標示され，指示詞「アレ」の２例（16,17）はすべて無助詞形である。ただし，「ソレ」の例のうち２例（9,10）は非隣接の例でもあるので，指示詞と非隣接性のどちらにより「ゴド」が使われているのかは不明。「アレ」と「ソレ」との違いも今のところ不明である。

(16)019 C アレ　クｎダエデ　ノマヘルンダビョン
あれ［を］　砕いて　飲ませるんだろう

(17)068 A アレ　カッテ　ナー　アレ　アメウリセァ
あれ［を］　買って　なあ　あれ［が］　飴売りよ

(d') 隣接性について。対格名詞句と動詞が隣接している例は，ほとんどが無助詞形，2 例(11,14)が「ゴド」である。非隣接の例でも無助詞形の方が多いが，隣接している例にくらべて「ゴド」で標示される割合が高い(9,10,12,13)。このことから，非隣接性は「ゴド」の使用に関与している可能性がある。

６．北九州市方言の対格標示

次に，北九州市方言の対格標示を見てみよう。北九州市方言では，主格は「が」で標示され，対格は無助詞形または助詞「オ」で標示される。COJADS における無助詞形の割合は，主格が 6.6%，対格が 46.4%である。北九州市方言の対格標示のポイントは，無助詞形と助詞「オ」がどのような条件により使い分けられているのかという点である。ここでも，対格名詞の(a)有生性，(b)特定性，(c)代名詞，(d)動詞との隣接性 の４つの点から用例を整理してみよう。それを示したのが表３である。

表３　条件ごとの対格標示形式の整理（北九州）　（出現回数）

	対格名詞	無助詞形	「オ」	合計
(a)有生性	動物名詞	1	1	2
	無生物名詞	53	61	114
	形式名詞コト	4	4	8
(b)特定性	固有名詞	0	2	2
	疑問詞	5	1	6
(c)代名詞	コレ	1	0	1
	ソレ，ソコ	1	9	10
	アレ，アッチ	6	4	10
(d)隣接性	隣接	61	53	114
	非隣接	2	18	20

(a")有生性について。有生名詞は動物の 2 例しかなく，無助詞形と「オ」が各 1 例，無生名詞や形式名詞でも，無助詞形と助詞「オ」の両方が使われている。人名詞の例がないので，これについては分からないが，用例の範囲では，有生性は格標示形式の選択に関与していない。

(b")特定性について。弘前市方言と同じように，固有名詞には特定性が備わっていると考え，固有名詞をピックアップした(18,19)。これらは助詞「オ」で標示されている。また，疑問詞は不定を表す。この 5 例は無助詞形である(20,21)。このことから特定性は助詞「オ」の使用に関係していると考えられる。

(18)1-326 A カキノハズシチューチナー　スシオ　ニギッチ
柿の葉鮨というね　寿司鮨を　握って

(19)1-336 A モー　カナラズ　カキノハズシオ　クレヨッタヨ

もう　必ず　　柿の葉鮨を　　あげていたよ

(20)1-053 C アンタチャー　モー　ナン　　ハキヨッタカナ
あなたたちは　もう　なに［を］　履いていたかね

(21)1-240 A ナニ　　ウリー　イキヨッタ
なに［を］　売りに　行っていた？

(c")代名詞について。代名詞はいずれも指示詞（コレ，ソレ，ソコ，アレ，アッチ）の例である。表３では，ソ系の指示詞はア系の指示詞に比べて助詞「オ」で標示される割合が高くなっている。ただし，ア系の指示詞には慣用句的な「アレ　スル」が４例入っている(22,23,24,25)。これは動詞を代用するスル動詞的な用法で，「アレ」のあとに助詞「オ」を伴わない。したがって，指示詞の例から外す方がよいかもしれない。この４例を外すと，ア系の指示詞も「オ」で標示するものが多くなる(26)。なお，指示代名詞は，既出の名詞（句），あるいは既知の名詞（句）を代用するものなので，特定性の特徴を持つと考えられる。(b)と合わせて，助詞「オ」の選択に特定性の要因が働いていることは間違いなさそうである。

(22)1-330 A アレ　　シヨッタラ　タランモン。
あれ［を］　していると　足りないもの。
(柿の葉寿司を重箱に入れて人にあげていたら重箱が足りないもの)

(23)1-349 A イネノ　アレ　　スル　トキジャケー
稲の　あれ(刈り取り)［を］　する　時だから

(24)5-050 B アレ　　ヤリヨッタ
あれ(石なごという遊び)［を］　していた

(25)6-104 A アレ　　シー　イキャー　カシテクレヨッタ
あれ(頼み)［を］　しに　行けば　貸して呉れていた

デス　ナー
です　ねえ

(26)4-381 B ソレカラ　アンタ　アレオ　　ツクルチュータラ
それから　あんた　あれ(苗)を　作るといったら

(d")隣接性について。対格名詞句と動詞が隣接しているときには，無助詞形と助詞「オ」の両方が現れているが，非隣接の場合は20例中８例が助詞「オ」でマークされている。非隣接の場合には助詞「オ」が選択されていることが分かる。

(e)情報構造について。以上の４つの要因の他，情報構造が関係していると思われる例がある。たとえば，(27)では直前の A の発言に B が同意して，B の発言を繰り返す例，(28)は「何を履いて学校へ行っていたか」という話題において，D の「麻履き」「下駄」という発言に対して C が「草履」「きれいな草履」と答え

る例で，いずれも対格名詞句が焦点化されている。情報構造については，ひとつひとつの用例を前後の文脈の関係で整理しなければならないので，数量的な考察には向かないが，無助詞形か助詞「オ」かの考察には不可欠である。

(27)026 A ハヨ　モドランカー　チューゲナ　コトワ　イーヨッタヤロ
「急いで　戻らないか」　というような　ことは　言っていただろう

027 B ウン。ハヨ　モドランカ　チュー　コトバオ　ツカイヨッタ
うん。「急いで　戻らないか」　という　ことばを　使っていた

(28)053 C アンタチャー　モー　ナン　ハキヨッタカナ
あなたたちは　もう　なに［を］　履いていたかね

054 D アタシタチャー　アノー　アレ　アノー　アサバキ
私たちは　あのー　あれ　あのー　麻履き［というのが］

アリヨッタロー
あっただろう

057 D アレヤラ　ソレカラ　ゲタヤラ
あれやら　それから　下駄やら

058 C アノー　X6チャント　フタリデ　ゾーリオ　ハイテ　X7ノ　アノ
あの　X6ちゃんと　二人で　草履を　履いて　X7の　あの

ババサンガ　キレイナ　ゾーリオ　ツクリヨッタヨネ
おばあさんが　きれいな　草履を　作っていたよね

7．鹿児島県頴娃町方言の対格標示

鹿児島県頴娃町方言は，主格が「が」で，対格が「オ」「バ・オバ」で標示される。無助詞形の割合は，主格が 1.6%，対格が 5.8%である。「オ」は名詞末母音と融合することが多い（無助詞形なら(29)はバケッ，(30)はハナシ，(31)はバクダン，(32)はミッである）が，融合しない形も出てきている(33)。

(29)475 A　クヮジガ　アレバ　バケツ　モッ
火事が　あれば　バケツを　持って

(30)257 C　ガッチュー　ハナス　キケバ　モー　ナンダヂャイガ
よく　話を　聞けば　もう　涙だが

(31)231 A　アオテ　イダッ　バクダンノ　ナケ゜ッ
青戸に　行って　爆弾を　投下し

(32)388 B　ミヅュ　ノン　トッ　イダヂョランヂャッタ　ト　ユーチェ
　　水を　飲む　時に　行っていなかった　と　言って

(33)191 C バケツノ　アイヂェ　ミズオ　ズット　トイチンデ
　　バケツの　あれで　水を　ずっと　とりついで

この他，「バ」「オバ」で標示される例が 4 例ある。このうち「バ」については，普通，鹿児島方言で単独の「バ」が使われることがないこと，(34)(35)がいずれも「アイ（あれ）」に続いた例であることを考えると，これは「オバ」の例と見る方がよさそうである（ai＋oba > ajuba> aiba）。「オバ」は「オ」に比べてフォーマルなスタイルで使われるが，情報構造上の違いについては未詳である。

(34)405 C マーン　カワン　ウエニ　アイバ　ハッテナ　ハラ
　　まあ　川の　上に　あれを　張ってね　ほら

(35)479 A アイバ　モッ　ハシッイッムンヂャッタッヂャニー
　　あれを　持って　走っていくものだったのだね

(36)308 C アダイケ゜ン　オトサンカ゜　トオバ　ヤッテ
　　私の家の　おとうさんの　ものを　くれて

(37)493 A エー　ウッカン　チュトオバ　モッタイハラ
　　ええ　ウッカン　というのを　持ったりね

無助詞形が 5 例見られる。(38)(39)(40)は名詞が「アイ」「オイ」の例だが，(34)(35)を「オバ」の例と考えたのと同じ理由で，これらは助詞「オ」の融合形と見ることができる（ai＋o > aju> ai，oi＋o > oju> oi）。そうすると，無助詞形の確例は(41)(42)の 2 例だけとなる。これも「X16 サンヌ」（X16san＋o > X16sannu），「ミセー」（mise＋o > misee > mise）の可能性がある。

(38)138 C マン　ナッダゲ　チュッセー　アイ　セダバッ
　　まあ　なるだけ　と言って　あれ［を］　したけど

(39)157 B X24 ダ　ワガエデー　アイ　ショッタバッ
　　X24 たちは　自宅で　あれ［を］　していたが

(40)442 B X47 カ゜　オイ　チカマユンナ　チュバッ　チカマエッソラ
　　X47 が　私［を］捕まえるな　と言うけれど　捕まえてね

(41)191 C ガッチュイ　X16 サン　ミーコ゜ヂャイカ　チュ　ユダチュ
　　まるで　X16 さん［を］　見るようだ　と　言ったそうだ

(42)191 C X38 サンチュワ　イマ　ミセ　ヤッドカ゜ナー
　　X38 さんという人は　今　店［を］　やっているかね

８．まとめ

弘前市方言では，

・ 対格は無助詞で標示されるのが基本である。
・ 助詞「ゴド」は，対格名詞句が人名詞の場合，特定性を持つ場合，動詞に隣接しない場合に使用される。

北九州市方言では，

・ 対格は無助詞形または助詞「オ」で標示される。
・ 助詞「オ」は，対格名詞句が特定性を持つ場合，動詞に隣接しない場合，焦点化されている場合に使用される。

鹿児島県頴娃町方言では，

・ 対格は助詞「オ」「オバ」で標示される。
・ 無助詞形は極めてまれで，無助詞形のように見えるものも，助詞「オ」の融合形である可能性が高い。

注

1.　「保留」は，名詞語末母音が o の長母音の場合である。

047 コドモニ　<u>イショー</u>　ツケルノニ
　子供に　衣装［を］　つけるのに
099 アノー　<u>エンショー</u>　メグンデス。
　あの　煙硝［を］　砕くのです。

COJADS では上のような例を［を］で示しているが，助詞「オ」が接続した可能性もある。そのため，表 1 では「保留」にしている。なお，名詞語末母音が o の短母音の場合は，長音化しているか，否かで判断した。

184 フロシキー　ツツンデ　ユーヨーナ　<u>コトー</u>　ショッテデシタ。
　風呂敷へ　包んで　［と］いうような　ことを　しておられました。
203 <u>ミノ</u>　コシラエヨラレタガ。
　蓑［を］　作っておられたが。

広島方言の対格標示形式については，小西(2015)に詳しい。

２．茨城県水海道方言の「ゴド」は有生対格マーカー（佐々木 1998），秋田方言の「ドゴ」は有生の対象物の取り立て（日高 2000），仙台市方言の「ドゴ」は有生かつ特定の目的語に対して用いられる（玉懸 2002）という。これに対し，弘前市方言の「ゴド」は，有生名詞のうち人名詞に限られる。

引用文献

阿部貴人(2009)「対話における無助詞化の地域差－東京・大阪・津軽方言の対照から」『月刊言語』38-4，pp.40-46.

小西いずみ(2015)「広島方言の対格表示－談話資料による軽量的把握－」『国語教育研究』56，pp.13-24.

佐々木冠(1998)「水海道方言の対格－有生対格と無生対格の統語論－」『日本語科学』4，pp.99-120.

竹内史郎・松丸真大(2015)「本州方言における他動詞文の主語と目的語を区別するストラテジー」国立国語研究所共同研究プロジェクト研究発表会「日本語のアスペク

ト・ヴォイス・格」（2015 年 8 月 21-23 日）発表資料.
玉懸元(2002)「仙台市方言における格助詞相当『ドゴ』の用法」『国語学会 2002 年度秋季大会予稿集』pp.127-132.
日高水穂(2000)「秋田方言の文法」秋田県教育委員会編『秋田のことば』無明舎出版.
松田謙次郎(2000)「東京方言格助詞『を』の使用に関わる言語的諸要因の数量的検証」『国語学』51-1，pp.61-76.
皆島博(1993)「日本語の格助詞「を」の省略について―有生性と定性の関与の可能性」『言語学論叢　松本克己克巳教授退官記念論文集』，pp.58-70.

付記

本稿は, 2016 年 7 月 6 日に開催された東京外国語大学語学研究所定例研究会における発表をもとに，一部修正を加えて作成したものである。席上，多くの先生から貴重なご意見をいただいた。この場を借りて御礼申し上げる。なお，この研究は，平成 25～27 年度科研費基盤(B)一般 25284087，平成 28～32 年度科研費基盤研究(A)一般 16H01933，および国立国語研究所共同研究プロジェクト「日本の掃滅危機言語・方言の記録とドキュメンテーションの作成」の研究成果の一部である。